



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 安田倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9324 URL <https://www.yasuda-soko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 信行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒川 昌幸

TEL 03-3452-7311

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (四半期決算説明の動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	32,896	11.2	1,141	7.2	1,886	12.3	1,175	16.6
2023年3月期第2四半期	29,589	17.7	1,229	11.7	2,150	8.1	1,409	10.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 8,544百万円 (445.7%) 2023年3月期第2四半期 1,565百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.59	
2023年3月期第2四半期	48.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	183,551	85,503	46.4
2023年3月期	166,005	77,372	46.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 85,120百万円 2023年3月期 76,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.50		13.50	26.00
2024年3月期		13.50			
2024年3月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	13.8	2,600	2.6	3,500	7.3	2,150	4.3	74.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名 Yasuda Logistics Singapore Pte. Ltd.)、除外 __社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	30,360,000 株	2023年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,396,002 株	2023年3月期	1,395,882 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	28,964,026 株	2023年3月期2Q	28,961,418 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に持ち直しや改善の動きがみられましたが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きに回復の兆しは見られるものの、海上・航空運賃の下落、エネルギー・原材料価格高騰の影響や労働力不足への対応など予断を許さない状況であり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスの空室率は高い水準が続いており、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、事業拡大を推進してきました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、前年同期比3,306百万円増（11.2%増）の32,896百万円となりました。営業利益は、新規企業結合に伴う販管費等の増加により前年同期比88百万円減（7.2%減）の1,141百万円、経常利益は、為替差益の減少により前年同期比264百万円減（12.3%減）の1,886百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比233百万円減（16.6%減）の1,175百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、海上運賃の下落により国際貨物取扱料が減少したものの、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、倉庫・輸配送ネットワークの拡充などにより倉庫保管料、作業料、陸運料で増収となり、営業収益は前年同期比3,419百万円増（12.8%増）の30,103百万円、セグメント利益は前年同期比49百万円増（3.4%増）の1,509百万円となりました。

不動産事業では、既存施設の稼働率向上により不動産賃貸料は堅調に推移しましたが、施工工事の減少により営業収益は前年同期比152百万円減（4.8%減）の3,005百万円、セグメント利益は前年同期比11百万円減（1.1%減）の1,009百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価の増加と新規企業結合による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ17,546百万円増の183,551百万円となりました。

負債については、主に社債の発行と投資有価証券の時価評価増加に伴う繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ9,416百万円増の98,048百万円となりました。

純資産については、主にその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ8,130百万円増の85,503百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末から変わらず46.4%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は、52.5%となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ718百万円減の14,382百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加や法人税等の支払による減少もありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の資金留保により、3,065百万円増（前年同期は2,697百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により6,691百万円減（前年同期は2,919百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による減少もありましたが、

主に社債の発行による収入により2,664百万円増（前年同期は1,955百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月8日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,139	14,423
受取手形及び営業未収金	9,586	10,999
商品	3,025	2,765
その他	1,023	1,434
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	28,771	29,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,867	37,584
機械装置及び運搬具（純額）	2,368	2,325
工具、器具及び備品（純額）	906	863
土地	37,036	38,799
建設仮勘定	3,054	7,178
有形固定資産合計	80,233	86,750
無形固定資産		
のれん	4,639	4,695
借地権	1,016	1,016
その他	2,301	2,206
無形固定資産合計	7,957	7,918
投資その他の資産		
投資有価証券	45,666	55,827
繰延税金資産	584	592
退職給付に係る資産	672	702
その他	2,138	2,159
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	49,042	59,263
固定資産合計	137,233	153,932
資産合計	166,005	183,551

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,721	5,748
短期借入金	10,320	8,386
1年内償還予定の社債	62	62
1年内返済予定の長期借入金	2,631	2,821
未払法人税等	534	495
未払費用	1,692	1,764
その他	2,286	1,995
流動負債合計	22,249	21,273
固定負債		
社債	10,299	16,768
長期借入金	35,980	36,528
繰延税金負債	12,636	15,946
退職給付に係る負債	2,194	2,206
長期預り敷金保証金	4,081	4,129
その他	1,190	1,196
固定負債合計	66,383	76,774
負債合計	88,632	98,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,814	2,814
利益剰余金	41,595	42,378
自己株式	△1,175	△1,175
株主資本合計	46,836	47,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,430	36,496
為替換算調整勘定	67	377
退職給付に係る調整累計額	660	627
その他の包括利益累計額合計	30,157	37,500
非支配株主持分	378	382
純資産合計	77,372	85,503
負債純資産合計	166,005	183,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益		
保管料	4,213	5,022
倉庫作業料	4,371	4,810
陸運料	10,648	13,124
国際貨物取扱料	4,768	3,549
物流賃貸料	892	964
不動産賃貸料	2,334	2,398
その他	2,361	3,027
営業収益合計	29,589	32,896
営業原価		
作業費	12,496	13,362
人件費	6,364	6,781
賃借料	1,717	2,038
租税公課	566	637
減価償却費	1,673	1,842
その他	3,582	4,460
営業原価合計	26,400	29,123
営業総利益	3,189	3,773
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	807	1,060
福利厚生費	136	172
退職給付費用	31	34
減価償却費	84	174
支払手数料	232	288
租税公課	77	83
その他	588	816
販売費及び一般管理費合計	1,959	2,631
営業利益	1,229	1,141
営業外収益		
受取利息	1	9
受取配当金	859	966
為替差益	327	53
雑収入	46	96
営業外収益合計	1,234	1,125
営業外費用		
支払利息	297	310
借入関連費用	14	14
社債発行費	-	42
雑支出	1	12
営業外費用合計	313	380
経常利益	2,150	1,886

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
特別利益		
固定資産売却益	13	30
特別利益合計	13	30
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産廃棄損	41	87
特別損失合計	46	88
税金等調整前四半期純利益	2,116	1,827
法人税、住民税及び事業税	663	630
法人税等調整額	7	13
法人税等合計	671	644
四半期純利益	1,445	1,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,409	1,175

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,445	1,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	7,066
為替換算調整勘定	371	327
退職給付に係る調整額	△25	△33
その他の包括利益合計	120	7,360
四半期包括利益	1,565	8,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,507	8,518
非支配株主に係る四半期包括利益	58	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,116	1,827
減価償却費	1,758	2,017
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△13	△65
受取利息及び受取配当金	△861	△976
支払利息	297	310
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△29
固定資産廃棄損	41	87
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,171	△1,028
棚卸資産の増減額 (△は増加)	186	260
仕入債務の増減額 (△は減少)	776	756
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	77	47
その他	△327	△125
小計	2,872	3,082
利息及び配当金の受取額	861	975
利息の支払額	△298	△307
法人税等の支払額	△736	△684
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,697	3,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△9
有形固定資産の取得による支出	△2,460	△6,465
有形固定資産の売却による収入	22	106
無形固定資産の取得による支出	△422	△57
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△256
その他	△45	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,919	△6,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120	4,240
短期借入金の返済による支出	△120	△6,249
長期借入れによる収入	200	180
長期借入金の返済による支出	△1,625	△1,405
社債の発行による収入	-	6,457
社債の償還による支出	△31	△31
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△377	△392
その他	△121	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,955	2,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	480	242
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,696	△718
現金及び現金同等物の期首残高	18,199	15,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,502	14,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	26,676	2,913	29,589	-	29,589
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	7	244	252	△252	-
計	26,684	3,158	29,842	△252	29,589
セグメント利益	1,460	1,021	2,481	△1,251	1,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,251百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,252百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	30,096	2,800	32,896	-	32,896
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	205	212	△212	-
計	30,103	3,005	33,109	△212	32,896
セグメント利益	1,509	1,009	2,519	△1,377	1,141

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,377百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,387百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。